

笠間市の不登校について

不登校とは、何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、児童生徒が登校しないあるいはしたくともできない状況にある年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的理由を除いたものです。

笠間市の不登校児童生徒の実態は、令和元年度から令和4年度まで、増加傾向にありました。そのため、笠間市は不登校児童生徒の支援として、こども育成支援センター内に教育支援室「ここから」を設置し、生徒の社会的自立のための援助・指導を行っております。また、令和6年度から市内中・義務教育学校全6校に校内フリースクールを開設し、学習保障及び個に応じた対応に努めております。

令和5年度笠間市不登校児童生徒数の現状

小学校 48名（児童全体の1.40%）

中学校 144名（生徒全体の8.34%）

令和5年度笠間市不登校の状況

小学校

「不安・抑うつ相談があった」 … 22.7%

「障害（疑いを含む）に起因する特別な教育的支援の求めや相談があった」 … 17.3%

「学校生活に対してやる気が出ない等の相談があった」 … 16.4%

中学校

「学校生活に対してやる気が出ない等の相談があった」 … 30.4%

「不安・抑うつ相談があった」 … 22.3%

「障害（疑いを含む）に起因する特別な教育的支援の求めや相談があった」 … 17.4%

笠間市不登校児童生徒数の推移



